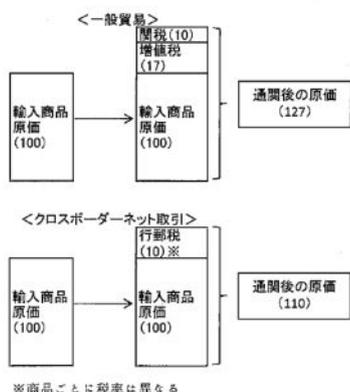


瀋陽駐在員事務所

拡大する中国のネット通販



最近是中国の一般消費者が「買い物」をする際の行動様式が大きく変化しています。中国商務部は昨年の中国の電子商取引の売上高が前年比 25%増の約 13 兆元(約 260 兆円)と発表、ネット通販最大手 Alibaba (アリババ) が運営する通販サイトでは、昨年 11 月 11 日「シングル・デー」1 日の取引高が 571 億人民元(約 1 兆 1420 億円、前年比 57.7%増)を記録しました。ネット通販急拡大は輸入品にも波及しており、昨年新たな法令が交付され、上海・重慶・杭州・寧波・鄭州の 5 都市が越境電子商取引(輸入製品ネット取引=クロスボーダーネット取引)に関する新たな通関業務の試行都市に指定されています。

先日、当事務所では試行地域の一つである寧波保税區を視察してきました。寧波では保税區内に設立されたクロスボーダーネット取引企業が販売する輸入商品は、金額 50 元(約千円)までは免税、50~1,000 元(約 2 万円)は関税・増値税が免除され、代わりに低率の「行郵税」(商品毎に税率設定)を納付すれば、一般の貿易手続きよりも安価に海外商品を通関できます。消費者にも税率が軽減され購入価格が安くなるほかに中国語サイトでの購入が可能となる事、高額の運送費負担などが不要となるメリットがあります。視察したネット通販企業によれば「日本製」商品への消費者の信頼度は非常に高く人気もあり、是非とも日本企業と商談をしたいとのこと。今後、信頼度が高い日本の中でも知名度の高い「北海道」の商品の中国への新たな販売チャネルとして活用が期待できます。

張 璐

ユジノサハリンスク駐在員事務所

【サハリン日本語会話クラブ】~川柳



グループに分かれ自己紹介



川柳の作り方を指導する日本人

6 ヶ月振りに会話クラブに参加しました。受講者が 30 人にも増え、日本語に興味を持つロシア人が年々増えていることは非常に嬉しいことです。今回のテーマは「川柳」です。日本語を学ぶロシア人にとって、「5・7・5」の 17 文字でまとめ川柳を作ることは非常に難しい様です。最初の一句が中々出てこない様です。しかし、日本人の私でも心打たれるロシア人ならではの川柳がたくさん出来ました。優秀作品をご披露したいと思います。「家を建て 息子が出来て 幸せよ」主婦の方が作りました。「サハリンの 季節は二つ 冬と泥」学生が作りました。サハリンの雪解けの季節を象徴しています。そこで私も一句作ってみました。「おやしギャグ 通じないよ ロシア人」。当事務所の優秀な通訳マリアの日本語力を持って私のギャグはレベルが高い様で、いつも素通り(無視)され、一人落ち込んでいます。遠い将来に日本の伝統文化になるであろう「おやしギャク」を次回のテーマに選び、簡単な「イクラはいくら？」当たりから伝えて行きたいと思います。

この様に、現地で日本語を学ぶロシア人と接することで、日本人が忘れかけている日本文化を逆にロシア人から学んでいます。

三上 訓人

ウラジオストク駐在員事務所

ロシアでの新年について

前回ロシアでの年越しについて触れましたが、今回はロシアでの新年についてです。ロシアでは新年が明けてすぐに長い新年休暇があります。例えば 2015 年の新年休暇は次のとおりとなっていました。

1/1 (木) ~ 2 (金) ... 新年休暇

3 (土) ~ 4 (日) ... " (新年休暇と土曜・日曜(休日)が重なるので休日が
1/9 と 5/4 にそれぞれ振り替え)

5 (月) ~ 6 (火) ... 新年休暇

7 (水) ... ロシア正教クリスマス

8 (木) ... 新年休暇

9 (金) ... 1/3 (新年休暇) の振替休日で土曜日扱い

10 (土) ~ 11 (日) ... 休日

ロシアでは祝祭日が土曜又は日曜の場合は、翌月曜が振替休日となります。ただし 1/3 と 1/4 は例外となり、それぞれ 1/9 と 5/4 に移動します。そんな長い新年休暇が終了した翌週の 1 月 19 日、在ウラジオストク日本国総領事公邸で新年賀詞交換会が開催されました。ウラジオストクに駐在・在住の方とその家族が招待され、約 50 名の方が出席されました。まず、笠井総領事からご挨拶があり、日本領事館から最近の事故・犯罪等に関する諸注意事項などの連絡があり、在ウラジオストク日本人会会長から乾杯の発声の後、歓談となりました。総領事公邸のシェフが調理した美味しい料理を堪能し、最近の情勢や年末年始の出来事など様々な話題で歓談を行いました。



伊藤 清平

カシコン銀行

「北海道とタイを結ぶ空の道」

北海道とタイを直接結ぶ格安航空会社 (LCC) 「タイ・エアアジア X」が 5 月 1 日より週 7 往復で運航することを 2 月 10 日に発表した。機体はエアバスの A330 300 型を使用し、座席数は 337。

タイ・エアアジア X がバンコクから日本国内に直行便を運航しているのは成田、関西の両空港で新千歳は 3 番目。

タイからの観光客推移を見てみると、2011 年には約 10 千人、タイ航空によって直行便が就航された 2012 年には約 37 千人、ビザ免除された 2013 年には約 99 千人と割合で見るとまさに爆発的なスピードで伸びている。さらに、2014 年度も昨年を上回る事は確実だ。

最も北海道を訪れる外国人は台湾人でその数は訪道タイ人の約 4 倍であるが、タイ人中間層の急激な所得の向上、(ありがたいことに) 北海道への憧れとも言えるブランドの確立、そして安価で往復できる「足」と、北海道へのインバウンドにあたってプラス材料に事欠かない現状では、タイ人が訪道外国人トップ 1 になる可能性すら感じてくる。

北海道はタイ人の受入の準備は出来ているだろうか。海外へ販路を拡大することだけが海外進出では無い。彼らが北海道で満足し、食事・宿泊・サービスを利用してくれるのであれば、当然これも立派な海外進出である。



伊藤 彰浩